

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校施設課）				事業番号	038-112	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校施設	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画			—				
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠			学校教育法				

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	学校園施設（特別支援学校3校）、児童生徒、教職員、保護者、地域住民				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	学校園の施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。					
8	事業内容	学校園施設設備の修繕、電気・ガス・水道及び電話使用料の支払 等					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	委託業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	施設や設備の維持保全を行い、児童生徒の安全安心が確保されている学校数	校	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	児童生徒の安全安心を確保することを目標とする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市立支援学校の校数					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	校舎等修繕料の実施件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	48	44		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	施設や設備の維持保全に直結するものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	緊急的な対応も多いため、目標値の設定にはなじまない。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校施設課）	事業番号	038-112
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。

（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	39,013	36,382	46,132	43,380	40,873
	国支出金	96	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（諸収入）	41	0	100		100
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	38,876	36,382	46,032	43,380	40,773
14	人件費（b）	820	810	810	810	840
15	年間経費（c）=(a)+(b)	39,833	37,192	46,942	44,190	41,713

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	光熱水費	決算		37,461	37,461		決算			
		予算		34,714	34,614		予算			
	修繕料	決算		5,187	5,187		決算			
		予算		5,059	5,059		予算			
	委託料	決算		121	121		決算			
		予算		440	440		予算			
	通信運搬費	決算		611	611		決算			
		予算		660	660		予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 児童生徒の安全安心が確保されている学校数	校	3	3
	② 上記①にかかる年間経費	千円	37,192	44,189
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	12,397,333	14,729,667
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	施設や設備の維持管理に要する経費であり、比較見積もり等により、効率的に予算を執行し、児童生徒の安全安心や良好な環境を確保できた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	各種施設点検結果や緊急対応など、優先順位を考慮しながら、施設設備の維持保全を行い、児童生徒の安全安心を確保した。
----	--